



通常総代会に向けた 第1次議案書

私たちの東都生協

2025年6月の通常総代会に向けて、
2024年度の活動と2025年度の方針(案)をお知らせし、
東都生協組合員の声を募集します。商品・サービスの
感想や、活動や運営について日頃感じていることなど、
ぜひお気軽にお寄せください。
皆さんの声は議案に生かし、組合員のくらしに
一層貢献していきます。

本誌を読んで、
7・8ページの
「わたしの声カード」
(アンケート)で
意見や要望を
お出しください。



安心できる、おいしいものを求める妖精、たべるん。
そのおいしいものをていねいに作る妖精、つくるん。
たべるんとつくるんとを
食べものでつなぐ妖精、くばるん。
まっすぐ伸びる杉の樹のよう、
鮮やかな緑色のとんがり帽子をかぶった妖精たち。
みんなのアタマ・コロ・おなかのどこかにある
「るんるんの森」に棲んでいます。



総代会とは...

組合員から選ばれた
代表=総代
(定数550人)が、
生協の1年間のまとめと
次年度の活動方針・
事業計画などを決める
大切な会議です。

2025年度 総代会までのスケジュール

1/20~24

「私たちの
東都生協」を配付
(本誌)

ホームページや
8ページの
二次元コードからも
「声」が送れます!

2/14 金

「わたしの声
カード」提出
締め切り

お忘れなく!



4/21~25

「私たちの願い」
を全組合員に配付

「わたしの声」を
集めた意見集です。

総代会議案の確定

6/12 木

第51回
通常総代会
(総代が出席)



総代会の決議内容を
全組合員に報告

この商品のこと、もっと知りたい。 作ってるところ見てみたいな…



生協とは

生活協同組合は、地域の消費者がよりよい暮らしを実現するため自発的に集い、協同で運営する非営利組織です。消費者一人ひとりが出資金を出し合って組合員となり、商品やサービスを利用し、生協の運営に参加します。生協は、営利企業のように利益を出すのではなく、組合員の暮らしを守り、より良くしていくことを目的としています。生協の組合員は、出資の多少に関わらず「1人1票」の平等な権利を持ち、民主的な運営を行っています。

生協は組合員が主役。みんなで手をつなぎ、願いを実現していく生協の中心に、くらしや地域を豊かにしていく自主的な取り組み「組合員活動」があります。東都生協は活動区域を9つの「地域」に分けていますが、地域や時間を越えた活動も盛んになってきています。

2024年度からは新しい組合員活動スタイルが始動。一人からでも「やってみたい」という気持ちを大切に、楽しく活動に参加できます。組合員どうしや地域住民のネットワークをつなぎ、くらしの問題解決に取り組んでいけるような仕組みです。

名称	要件	活動内容
このゆびとまれ	組合員または同居家族	ひとりから登録・参加 東都生協組合員の中で自分と同じ興味・関心を持つ仲間探しをします。
活動アシスト	組合員活動経験者・スキルや経験のある組合員	活動経験者が登録・運営補助 企画で、活動経験や得意なことを生かした役割を担い、初めて参加・企画する組合員の活動を後押しします。
とーとフレンズ	組合員2人以上	2人以上の仲間と一緒に登録・活動 生協および産直や商品について学び合うことを前提に、興味・関心のあることでつながり合い、よりよいくらしや願いを実現するための自主・自発的な活動です。



第1地域

足立区・荒川区・江戸川区・葛飾区・江東区・墨田区・台東区・草加市・八潮市・越谷市・三郷市・吉川市・松戸市・市川市・浦安市

東京の北東部に位置する第1地域は隣接する千葉県、埼玉県の一部も含む広いエリアを有する地域です。担当センターは足立センターです。地域委員会では足立区・江東区の公共施設を利用して学習会やサロンを月に2回程度開催しています。今年度は4月に「地域のつどい」、5月に「千葉のこめ豚学習会」、6月には総代お疲れさま会として「新宿中村屋学習会」、「茨城県西産直センター産地交流訪問」を行いました。地域で活動するととーとフレンズは6団体で30人ほどの方が活動しています。



「戦雲」上映会

11月29日(金)
第1地域委員会主催
深川江戸資料館

平和基金を活用した企画。沖縄の今を伝える映画を115人が鑑賞しました。美しい自然に対し、防衛力が配備される現状。平和を考える時間となりました。

第2地域

大田区・品川区・渋谷区・港区・目黒区・中央区・新宿区・川崎市

組合員が最も多く居住する地域です。とーとフレンズの登録は、9団体67人(2024年10月現在)で、産地・メーカー訪問を主催したり、消費生活展の運営に参画したり、多彩な活動を行っています。第2地域委員会では、折り紙・手芸・工作&茶話会の「オアシスサロン」を毎月開催。予約不要で誰でも気軽に参加できる組合員同士のおしゃべり交流の場を実施しています。

オリジナルパフェ&かんたん工作de涼みましょ♡

7月25日(木) 第2地域委員会主催
渋谷区商工会館



夏休みに親子が手軽に楽しめるようにと企画したところ、募集定員の2倍の申し込みがあり、抽選の結果、11組27人の親子が参加。牛乳パックランタン、または、紙コップでミニフラワーバスケットを製作。好きなトッピングを選んでオリジナルパフェを作って試食しました。「ちょっとずついろいろな種類の材料を自宅でするえるのは大変だから、またやってほしい!」といった声がありました。

第3地域

板橋区・北区・豊島区・文京区・千代田区・川口市・戸田市

10月現在14のとーとフレンズが活発に活動する地域です。ひとりからできる活動登録者は、このゆびとまれは11、活動アシストは9です。4月より手探りではじめたサロン活動(3Sun★カフェ)には、毎回初めての方が数名参加されています。商品に関する学習交流会や、テーマを持った企画などを開催し、産地メーカー訪問は6月に茨城県西産直センター、8月に東洋ライスを訪問しました。これからも組合員からの声を聞き取り、地域の方々の活動を後押ししていきます。

東洋ライス サイタマ工場メーカー訪問



8月29日(木)
第3地域委員会主催
「BG無洗米」「金芽米」でおなじみの東洋ライス。夏休みの工場訪問で親子参加が多くありました。お米の袋を持ち上げてみて、重さにビックリ! 焼きたての米粉パンの試食をし、お米の味を実感しました。お米の自給率についても学んだ「夏休みの思い出」となる企画でした。

第4地域

練馬区・清瀬市・東久留米市・西東京市・和光市・朝霞市・新座市

西武池袋線、西武新宿線沿線の地域で主に活動しています。8つのとーとフレンズがそれぞれのペースで活動をしており、体操をするのとーとフレンズは月2回集まるなど活発に交流しています。産地訪問にも、とーとフレンズと地域委員会が何回か訪問することができ、楽しく生産者と交流しました。月々行っている「サロndeねりま」に皆さん気軽にご参加ください。いろいろな情報交換ができます。

ヨコミゾ餃子学習会

4月9日(火)
第4地域委員会主催
石神井公園区民交流センター

「あるようで無かった餃子の学習会」に23人の組合員が参加しました。(株)ヨコミゾから講師をお迎えし、国内産豚肉と野菜を使用・うま味調味料不使用の「香港ギョーザ」のおいしさを皆さんで試食して確認。アレンジレシピのギョーザピザが大好評でした!

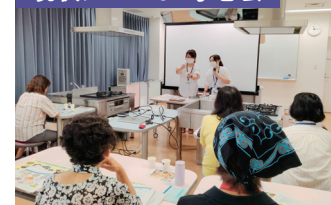


第5地域

杉並区・中野区

登録している14のとーとフレンズのうち、5つの団体がメンバー以外の組合員や地域にも広報して活動を行っています。地域委員会は、すぎ*なかサロンをほぼ毎月開催し、ピースニットを編んだり、お茶を飲みながらお喋りをしたりと徐々に参加者も増えてきています。また、組合員活動の相談ブースを設置し、とーとフレンズからの質問や意見を受けることができますようにしています。地域委員会主催企画では、商品やライフサポート、平和などをテーマに企画を開催しています。

八千代牛乳や酪農の現状についての学習会



6月27日(木)
第5地域委員会主催
高井戸地域区民センター料理室

2023年度総代対象に、千葉北部酪農農業協同組合の職員を講師に「八千代牛乳や酪農の現状についての学習会」を行いました。酪農家の仕事などを動画で見せていただきながら牛乳の飲み比べやレンネットテスト、講師を囲んで交流会も行い、酪農の現状を共有することができました。

第6地域

世田谷区

とーとフレンズ16団体、このゆびとまれ17人、活動アシスト9人が登録しています。各団体はさまざまな企画や学習会、産地訪問など活発に活動しています。地域委員会は地域コーディネーターを中心に遠方のメーカーとのオンライン学習会や平和募金による浅川地下壕の見学会、調理企画のほか、サロンではピースニット、東都生協のYouTube視聴や簡単手芸など交流の場として開催しています。

時短!「おかずキット」楽々調理

9月27日(金) 第6地域委員会主催
さんぽんすぎセンター



材料がセットしてあるおかずキット。最初に、商品部職員を講師に、商品開発についての学習。「興味はあるけれど購入をためらっている」という組合員に、実際に調理していただきました。「自分で調理する機会になって良かった」「今後、ぜひ購入してみたい」「歳を重ねているので簡単な商品を求めているが、目的に沿った商品で良かった」と大変好評でした。

第7地域

調布市・狛江市・小金井市・府中市・三鷹市・武蔵野市

6つの市で活動しており、特に京王線沿線は好立地な広い会場が使えることもあり、組合員活動の5つのテーマや商品、食育などいろいろな企画を実施しています。現在、とーとフレンズ5団体、活動アシストが5人、このゆびとまれの登録が9人です。4月からスタートしたサロン「インフォメーション・カフェ」はそれぞれの市で開催できるように計画し、回を重ねるごとに参加者も増え楽しい交流の場となっています。お近くで開催されたらぜひいらしてください。

インフォメーション・カフェde府中 多肉植物の寄せ植え体験

9月18日(水) 第7地域委員会主催
府中市市民活動センター プラッツ

大人12人が参加。他地域の団体に登録されている方から「フォで広い範囲の企画が見られるようになり参加しました」や「家で育てているが枯れてしまう。今日、学んだことを生かしていきます」というお声が聞けました。最後は全作品を並べてみんなで交流しました。多肉植物を通して楽しい時間が持てました。



第8地域

八王子市・町田市・稲城市・多摩市・横浜市・大和市・相模原市

組合員活動が活発な地域で、とーとフレンズに8団体が登録。食の安全・環境問題など、くらしに役立つ情報を発信し、講演会や上映会を積極的に行っています。第8地域委員会では商品学習会や試食会、平和学習会などを行い、仲間づくりにも力を入れています。また、組合員や地域の皆さんの居場所となるよう「みんなのカフェ」をほぼ毎月1回開催しています。

みんなのカフェ@若葉台



8月6日(火)
第8地域委員会主催
稲城市プラザ 実習室

夏休みに子どもたちと一緒に楽しめる居場所をつくろうと開催したサロン。「ゴミ分別魚釣りゲーム」「野菜の花当てクイズ」などのゲームや「るるんるんズの帽子をつくろう」「牛乳パックこま*おりがみ」などの工作をにぎやかに開催。給水タイムを取りつつ、最後にアイス・プリン・ジュースの試食品を食べながら交流しました。

第9地域

東村山市・小平市・国分寺市・国立市・立川市・日野市・東大和市・昭島市・福生市・武蔵村山市・瑞穂町・羽村市・あきる野市・日の出町・青梅市・奥多摩町・檜原市・入間市・所沢市・飯能市

東都生協の供給エリアの内、最も西に位置し、最も面積が広い地域です。東京の13の市・3つの町・1つの村、埼玉の3つの市の、合計20の市町村が対象地域です。広すぎて企画の会場決めや参加者集めが悩みの種ですが、できるだけ色々な場所で開催し、参加の機会を作るを目指しています。現在、4つのとーとフレンズが活動し、調理試食会や体操、フラワーアレンジメントなどを行っています。

夏休み親子企画!! 親子で「鎌倉ハム」のウインナー作り

8月3日(土) 第9地域委員会主催
立川市女性総合センター アイム

4組13名の家族が参加しました。鎌倉ハムクラウン商会の社員を講師に、ウインナーを手作りしました。こねた豚肉をケーシング(羊腸)に充填機で詰める作業は難しかったですが、みなさん家族で協力して、上手にできました。試食をしながら、鎌倉ハムの商品のこだわりも学びました。夏休みの家族のよい思い出になりました。





もっと大きな 取り組みもあるんだ！

とうとフェス

3会場で産地・メーカーなど74の団体188人と
来場者831人がにぎやかに交流しました。

この数年、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催できなかった「食の未来づくりフェスタ」ですが、今年は会場を足立・杉並・町田の3配送センターに設け、10月12日に「とうとフェス」を同時開催しました。組合員や近隣住民のみならずとたくさんの来場がありました。

各ブースでは、産地・メーカー、福祉作業所の商品販売や試食などを通じて交流を楽しみました。また、その会場でしか体験できないオリジナル企画や、3会場共通のスタンプラリーなども行われ、子どもたちの笑顔もあふれていました。組合員、産地・メーカー、職員が一堂に会するフェスは大盛況で終了しました。



東都生協平和のつどい

東都生協では、次世代に歴史の事実と平和の大切さを伝えていくため、平和について学び、交流する機会として「平和のつどい」を開催しています。

20回目を迎える今回は「平和を願い 耳をすましてみよう」をテーマに、8月17日、新宿区の牛込単管区民ホールで開催しました。猛暑にもかかわらず、組合員など約200人が参加しました。



アーサー・ビナードさんに、ご自身の著作の紙芝居「ちっちゃい こえ」と絵本「ドームがたり」の読み語り、制作にまつわるお話をいただきました。



東京在住被爆者の団体「東友会」の事務局長 村田未知子さんから、東友会の相談員として42年間で受けた相談の中から、実際の相談カルテをもとに、被爆者が受けた差別や孤独について講演していただきました。



組合員が編んだニットモチーフをサロンなどでひざ掛けに仕上げ、「ピースニット」として東友会の方へプレゼントする取り組みを行っています。今年も贈呈式を行いました。

地域を越えて、
東都生協の組合員同士が出会える活動の報告です。



杉並会場には、「農業高校米」を育てている高校生が秋田県から参加。



冷凍庫の中で
濡れタオルが
凍った！

Tohto Fan Meeting

東都生協の商品に興味がある組合員同士がつながり、学び、総代(組合員から選ばれた代表)の活動の不安や疑問などをざっくばらんに語り合う場です。

今年度、ここまでは2023年度総代を優先対象に、2つの企画…6月15日「JAやさと・朝日里山学校で野菜収穫&ピザ作り体験」、7月17日「簡単!ケーキサレでプチランチ&おしゃべり広場」の企画を行いました。

朝日里山学校を運営されているNPO法人アグリやさと代表の柴山さん(JAやさとOB)、JAやさと職員2人、農業を始めて間もない2組の朝日里山ファーム研修生家族の方たちと交流しました。



天候に恵まれました!
有機栽培で作られた
きゅうりを収穫。



大きな石窯のある調理場で、
現地のトマトでつくったピザ
ソースの上にそれぞれ野菜を
のせてピザをつくりました。



「ケーキサレ」とは、お総菜感覚
で食べられる塩味のケーキの
こと。スコーンも作りました。
コロコロサラダを添えて。



食の未来づくり運動

2008年の世界食料価格危機で、人々のくらしが深刻な課題に直面する中、次世代への安全・安心な「食」の継承と持続可能な食料生産と豊かなくらし、社会の実現に向けて提起されました。

【行動目標】

①食料自給率の向上

食費の5割以上は東都生協の商品を利用し、食卓から日本の農業を応援しよう

②日本の農業を元気に

年に1度は、生産者との交流や生産を支援する取り組みに参加しよう

③持続可能な社会に向けて

1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう



食の未来づくり運動
いのちをつなぐ大切な食べものを
未来につなげたい



2030年、こんな暮らしを 送っていたい…

ふらっと・とーと

地域の誰もがふらっと立ち寄れる場

7月15日、地域の誰もが立ち寄れる場「ふらっと・とーと」が開所。

「東都生協みんなで居場所をつくらうプロジェクト実行委員会」には東都生協の呼び掛けに応じた地域の支援団体・一般社団法人チョイふるや大学など多様なメンバーが集結し、ふらっと・とーと開設へ向けて準備を進めてきました。



東都生協、チョイふる、
足立区の三者で一緒に看板を設置。



同施設は、足立センター内の使われていない倉庫を改装したものです。区内の困窮子育て世帯への食料支援や、親子を居場所でする子ども食堂などに取り組む一般社団法人チョイふるが運営を担います。

一般社団法人チョイふるでは、施設の整備や運営に充てるためにクラウドファンディングを実施。オープニングセレモニーに参加した関係者やクラウドファンディング支援者は、施設内を見学して交流しました。

名称には「困っている人も、今は困っていない人も、そして支える人も、ふらっとどうぞ」という意味と、「支援する人とされる人の垣根をなくし、対等(フラット)な関係性を作りたい」との思いが込められています。

ふらっと・とーとでは毎月2回、子ども食堂を実施していく予定です。食を通じて、そこに集まる多世代が交流できるプラットフォームにしつつ、ボランティアについて知っていただくきっかけとなる場にと考えています。



オープニングセレモニーの日
に記念撮影。

東都生協2030年ビジョン

組合員、生産者・取引先、職員が
一緒にめざす3つのこと



1. 私たちは、「産地直結」の強みを生かし「未来ある子どもたちの健やかな成長」「どの世代も生き生きと輝くくらし」「地球環境の保全」を実現させる消費者をリードします。
2. 私たちは、組合員の切実な願いを正しく受けとめ、都市と農村をつないで食料自給率を向上させ、四季を織りなす豊かな自然と日本の農業を守ります。
3. 私たちは、組合員、生産者・取引先、職員の一人ひとりの想いを大切にして、どんな時でもつながりを絶やすことなく、社会の課題解決を果たすことで、究極の「ありがとう」の輪を広げます。

東都生協「食」の学校

東都生協は、2021年度通常総代会で
決議した「2030年ビジョン」(下段参照)のもと、
「食と農の感動体験を通じて、みんなの未来をしあわせにする」
組織になるべく、活動と事業を進めています。

消費者の食を選択する力を養うための学びの場として開設された、組合員向けのオンライン学習プラットフォームです。食や農、くらしに役立つ情報などについてより深く理解し、適切な選択を行う力を身につけることを目指します。現在は2024年度の後期が終わりつつありますが、受講は随時受け付けています。参加には事前の登録が必要です。



動画内容

- 《食コース》
日本の水田の現状と課題
お米の消費を考える
- 《農コース》
改正された食料・農業・
農村基本法の内容と課題
- お豆腐から考える
日本の食料自給率と国産の魅力
- カラダにいい洗濯術
- 農業の基礎知識
- 食物アレルギーを学ぶ/
卵・乳・小麦を使わない料理紹介
- 防災・減災について学ぶ
- 食品表示について
- 食品添加物の基礎
- 遺伝子組換え表示制度について
- 商品丸わかりオンライン学習会
動画(16タイトル)

食料・農業・農村基本法への働きかけ

食料・農業を巡る状況がこの数年で大きな変化を迎える中、「農政の憲法」とされる「食料・農業・農村基本法」の改正法が2024年5月の通常国会で成立しました。

東都生協を含む生活協同組合6グループ(他はパルシステム生活協同組合連合会、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、生活協同組合連合会、コープ自然派事業連合、生活協同組合連合会アイチョイス、グリーンコープ生活協同組合連合会)は、産直を通じて消費者と生産者をつなぎ、持続可能な社会づくりを追求してきました。私たちは、同法の見直しに当たって、国内の農畜水産業を守り、食料自給率向上に向けて踏み出す大きな機会と捉え、協議を重ね、合同学習会も開催し、多くの消費者や生産者の声を取りまとめた。

とめて、消費者団体の立場から政府に提言を行いました。私たちの提言に対して、改正法には不十分な点や課題があります。同法の内容の検証と課題、農業を巡る状況について知見を深め、同法に基づき策定される「食料・農業・農村基本計画」に消費者・組合員、生産者の声を反映できるようにしていくため、10月11日(金)に6生協合同でオンライン学習会を開催しました。



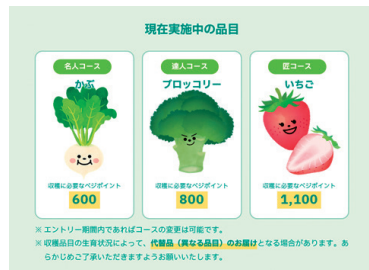
組合員、生産者・取引先、職員が
一緒に挑戦する6つのこと

1. 食の未来づくり運動の実践で、社会や消費者のくらしに貢献し、生産と消費の次世代継承を果たします。
2. 都市と農村を結び、社会の豊かさを考える食と農の学びと交流を推進します。
3. 地域で多様な人が世代を超えてつどい、子育てやシニアライフなどを支え合うコミュニティを充実させます。
4. 自然と風土を守り、地球環境と真摯に向き合い、限りある資源を未来につなぐ社会を築きます。
5. 人々の助け合いの輪を広げ、平和で災害に強い、安心してくらし続けられる地域づくりに取り組みます。
6. 変化する人々のくらしを支え、仕事を通じた社会貢献で、誰もが生きがいを持って働ける環境をつくります。



2024年度 事業の取り組み

インターネット注文サイト「とうとねっと」のお楽しみ機能として展開している「ベジポン!」。一定の期間、購入金額や頻度に応じて「ベジポイント」が貯まり、貯めたポイントに応じて、あらかじめ選んだコースの野菜や果物がバーチャル農園で育ちます。期間内に目標ポイントに達すると、後日、実物の野菜・果物が届く仕組みです。



2024ベジポン! 第5栽培期間(10月4回～12月2回)の取り組みの様子

東都生協のプライベートブランド(PB)「わたしのこだわり」は、「わたしの=組合員の」「こだわり=願い・要望」と捉え直し、商品仕様の見直しを進めており、たんばく加水分解物を使用している商品は順次リニューアル時に不使用仕様に改めています。東都生協の商品の考え方・基準ではたんばく加水分解物を使用とはしていませんが、PB商品で要望を受け止め、組合員に支持される取り組みを推進します。



まずは「東都国産ゆず白菜」と「東都サラダ専科」から着手しました



コープさっぽろでの取り組みの全国版「みんなのよきかせ絵本大賞」に東都生協も参加。東都生協が商品をお届けしている保育園にご協力いただき、大賞候補20作品から園児の反応や保育士の推薦を総合して「園のお薦め」を選出していただきます。



社会福祉法人杉の子保育園
池尻かもめ保育園に絵本をお届けしました。

配食事業では、6月4回より、これまで要望の多かった若者向けメニューとして、たんばく質が多めに摂れる新商品「KARADA元気」の企画を開始しました。環境に配慮したサトウキビ由来のワンウェイ容器を使用しています。



5月より、草加要冷セットセンターが無事稼働しています。職員からセンター長を配置し、セットセンターの全体的な管理に向けて一歩を踏み出しました。



草加要冷セットセンター外観

共済事業では、コープ共済の「お誕生前申し込み」受け付けが9月1日より始まり、お誕生前のお子さんの健康状態にかかわらず申し込みができるようになりました。



供給専門職員が長く東都生協で働き続けられるよう、10月より、非正規雇用から「限定正規職員」(供給職、勤務先の限定)へ処遇を改善しました。

職員の産地研修を経て、東都生協の産直を理解し、得られた知識を商品利用促進や組合員とのコミュニケーションに生かしています。



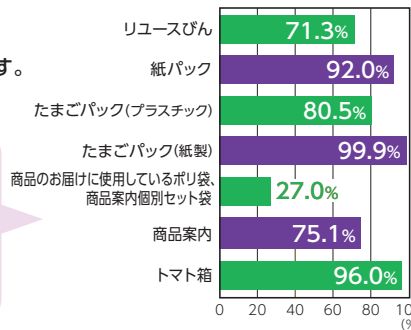
東都生協が取り組む募金・署名・3R活動* 報告

※3R活動とは

- ①リデュース(発生抑制)
- ②リユース(再使用)
- ③リサイクル(再生利用)です。

リユース・リサイクル品は、毎週の供給時に回収しています。大切な資源ですので、東都生協にご返却ください。

リユース・リサイクル品の回収率 【2024年11月20日現在】



●きょうされん※1 第47次国会請願署名※2.....4,057筆
※1 障害のある人たちが地域社会の中で、豊かに働き暮らすことを目指して活動する全国組織
※2 障害福祉についての法制度拡充を求める請願署名

●優生保護法の被害に対し最高裁判所に人権の砦として正義・公平に基づく判決を求める署名.....3,805筆

●リサイクル洗びんセンター支援募金.....2,113,400円

●第23回書き損じはがきなど回収キャンペーン.....4,803,138円
(きょうされん行き(書き損じはがき):1,466,092円、ハンガー・フリー・ワールド行き(はがき以外):3,337,046円)

●災害支援募金
・東日本大震災支援募金.....445,200円
・1点1円募金.....11,113円
・2024年能登半島地震災害支援募金.....54,052,139円
●未来につなぐ募金.....4,995,959円
(2024年度助成金額上限2,000,000円含む)



11月度までの新規加入者数は、イベントを中心としながら10,674名となっています。供給体制不足のなか、職員の奮闘や仲間づくりボランティアや組合員組織の支援を得ながら、前年を約2,500名上回っています。共同購入事業の1人あたり利用額は毎月6,000円台で推移し、11月度時点の平均は6,201円となっています。コメ不足の際には取引先の協力もあって何とか欠品を出さずにお届けすることができました。弁当配食事業は販売促進に取り組み前年、予算を上回っています。

生活支援事業は家事代行、不用品整理の件数が増え前年、予算を上回っていますが、施工業務を内製化したことにより供給剰余金は前年、予算を下回っています。生活文化事業は前年を下回っていますが、チケットを中心に予算は上回っています。事業経費は、人件費は前年、予算を下回っている一方、物件費は草加要冷セットセンター稼働に伴う減価償却費、高騰が続いている電気代、新規組合員拡大のための広報費等が増加し、前年を上回っています。

決算表

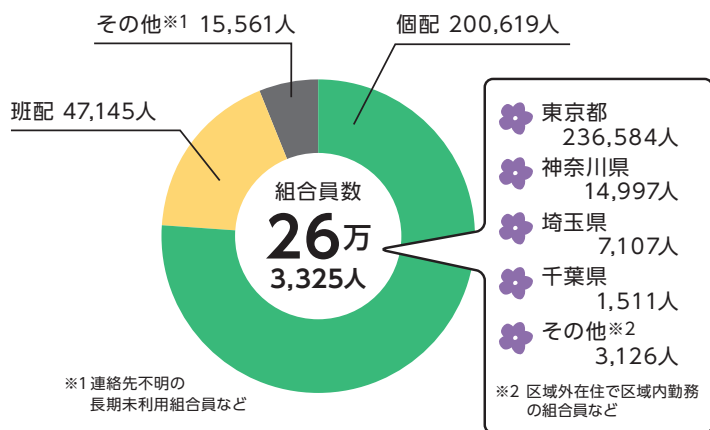
	2024年度実績 (11月度累計)	2024年度 予算比	説明
1. 供給高	218億9,485万円	99.6%	各事業の供給高合計
(1) 共同購入事業	214億2,051万円	99.5%	個配・班配の供給高
(2) 弁当配食事業	2億6,948万円	102.4%	夕食宅配の供給高
(3) 生活文化事業	1億5,395万円	106.2%	チケットなどの供給高
(4) 生活支援事業	5,092万円	100.5%	生活支援の供給高
2. 供給剰余金	54億 781万円	99.5%	各事業の供給剰余金 (供給高-供給原価)合計
3. その他事業収入	4億6,877万円	96.9%	手数料収入の合計
4. 事業総剰余金	58億7,658万円	99.3%	供給剰余金と その他事業収入の合計
5. 事業経費	62億9,573万円	98.8%	人件費と物件費の合計
(1) 人件費	26億4,010万円	99.5%	役職員の給与、賞与、 退職金などの費用
(2) 物件費	36億5,563万円	98.2%	組合員活動費、個配委託料、 商品案内などの費用
6. 事業剰余金	-4億1,915万円	92.3%	事業総剰余金から事業経費を 差し引いた剰余金
7. 事業外損益	2億4,657万円	142.2%	事業以外から得られる 収入や支出
8. 経常剰余金	-1億7,258万円	61.5%	事業剰余金に 事業外損益を加えた剰余金

※四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。予算比がマイナスの場合は表記していません。

利用状況	
延べ利用人数	3,454,277人
注文書1枚当たり利用高	6,201円

仲間づくり		出資金総額と組合員1人当たり出資金額	
加入者数	10,674人	出資金総額 (出資預かり金を含む)	65億8,211万円
脱退者数	7,849人	組合員1人当たり出資金額	24,996円
増加数	2,825人		

組合員人数



2025年度 活動・事業の計画(案)

1. 持続可能な事業経営

供給高で前年伸長を継続的に実現するために、組合員の純増数6,000名、新規組合員の3カ月後利用継続率80%と一人当たり平均利用高5,000円を目指します。また、持続可能な事業経営に向けて3カ年事業計画を策定します。

2. 食料生産と安定供給

異常気象や温暖化による栽培適地の変化に対して、組合員への安定供給が可能な産地リレーを模索します。また、需給調整や労働力不足に対する取り組みを具体化していきます。

3. 地域密着型の事業と活動

組合員活動と協同組合間連携や他団体との協同で、2025国際協同組合年、被爆80年、阪神・淡路大震災30年も意識しながら、平和、環境、福祉、食と農、くらしの取り組みを進めます。

4. 情報でつながるネットワーク構築

SNSがコミュニケーションツールとして比重が高まる中で、これまでのWeb活用に加え、新たに導入するアプリを効果的に活用して東都生協と組合員とのつながりを深めます。

5. 人財育成と働きやすい職場づくり

労働力不足を前提に業務構造の組み立てや人財管理を見直し、多様で柔軟な働き方やマルチで業務に取り組む人材の育成を追求します。



計画案についても、「わたしの声カード」であなたの意見・要望をお寄せください。

〈第1回総代会議〉

2024年11月22日～26日、オンライン2会場を含む計8会場で開催。
2024年度の活動・事業の中間報告と質疑応答を行い、分散会では米不足を糸口に、組合員として、また東都生協として、産直産地とのつながり方をどのように強化していけばよいかについて意見を交換しました。

分散会で他の組合員の皆さんの声を聞くことができ、良い経験になりました。

〈総代の声〉

日頃交流がない総代の方々とお話できてよかったです。

出席した皆さんも同じような思いでこだわりを持って生活されていると知り、気がついたことを言葉にして共に考えていけたらよいと思いました。

今まで活動以外で組合員の方と話す機会がなかったので新鮮でした。もっといろんな地域の方と交流できると視野が広がっていくのでは…とも思います。



総代会議の様子

一人ひとりの声を2025年度の計画に生かします。

わたしの声

カード(アンケート)

ご提出
お待ちしております!
います!



組合員の皆さんの意見や要望を募集します。

あなたの声を「わたしの声カード」(アンケート)で
発信してください!

2月14日(金) までに供給時に注文書と
一緒に提出ください。

●インターネット経由でも承ります。→

右の二次元コードをスマートフォンやタブレットなどから読み
取っていただくと専用フォームから入力・送信ができます。
<https://ws.formzu.net/dist/S393908125/>



※いただいた声についての個別回答はいたしませんのでご了承ください。

1. 2025年度 活動・事業 計画案への要望・思い

※8ページの「2025年度 活動・事業の
計画案」も参照ください。

昨年の声より

産地訪問をして、
生産者と交流すると
その産地や
生産物のファンになり、
応援したくなります。

2. 商品・サービスへの 意見・期待

昨年の声より

「国産応援」の姿勢を
今後も共に貫き、
より健康的な商品開発を
期待します。

表(8ページ)にもお書きください。

組合員の皆さんの意見や要望を募集します。

あなたの声を「わたしの声カード」

(アンケート)で発信してください!

2月14日(金) までに供給時に注文書と
一緒に提出ください。

●インターネット経由でも承ります。→

右の二次元コードをスマートフォンやタブレットなどから読み
取っていただくと専用フォームから入力・送信ができます。
<https://ws.formzu.net/dist/S393908125/>



※いただいた声についての個別回答はいたしませんのでご了承ください。

3. 本誌2～7ページについてお聞きます

A この冊子で関心のある項目(複数選択可)

当てはまるもの全てに○をつけてください。

- P2-3 この商品のこと、もっと知りたい。
- P4 もっと大きな取り組みもあるんだ!
- P5 2030年、こんな暮らしを送っていたい...
- P6-7 2024年度 事業の取り組み
- その他 []

B 上記を選んだ理由、 感想や意見などをお書きください

4. その他(供給担当者へのメッセージなど)



お名前
(ペンネーム可)

お住まい

区・市・町・村

年代 (○をつけてください)

20代未満・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※ いただいた声は、意見集などに掲載する場合がありますが、
お名前を掲載することはありません。

裏(7ページ)にもお書きください。

2025年1月 東都生活協同組合「私たちの東都生協」センター→総合企画室